

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710  
WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長 鴨宮 弘宜 副 S A A 西岡 一道  
 会長エレクト 板場 英行 直前会長 菅 義尚  
 副会長 宮本 和彦 管理運営 尾野 剛章  
 幹事 井上 盛文 会員組織 三好 静子  
 副幹事 木村 安伸 奉仕 宮本 和彦  
 会計 田中 幸俊 広報 久藤 孝仁  
 S A A 山根 積 R財団米山 大成 義彦

事務局/〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1おおぎビル102号  
 TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651  
 E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp  
 http://www.takehara-rc.com  
 例会日/毎週木曜日12:30~13:30



本日のプログラム 7月27日	次週のプログラム 8月3日
前年度決算報告 クラブアッセンブリー	誕生祝・各会員各記念日祝 誕生月該当者会員卓話

【2017年7月20日 第2575回 例会記録】

- 点 鐘
- ロータリーソング：我等の生業
- 会員数：32名（免除者：3名）
- 出席者：25名 □欠席者：4名
- メイク：3名 □出席率：93.33%

スマイルボックス

- 就任スマイル…福本
- 特別スマイル
  - ・7月13日例会100%出席でした。皆さんに感謝です。（鴨宮弘宜）
  - ・昨日19日78才の誕生日を迎えました。今後とも皆様に迷惑掛けないように頑張ります。宜しくお祈りします。（市川重雄）

幹事報告

幹事 井上 盛文

- ・例会変更 瀬戸田RC
  - 定款8条1節により休会 8月16日(水)
  - 8月30日(水)
  - 9月27日(水)
- 例会変更 9月13日(水) →9月12日(火)
  - 理由：4クラブ合同月見例会
  - 場所：西山別館
- ・例会変更 尾道東RC
  - 定款8条1節により休会 8月15日(火)
  - 9月12日(火)→同日18:30
  - 場所：西山別館
  - 理由：4クラブ合同月見例会
- ・広島県防犯連合会賛助会員会費納入のお願い  
(活動計画書訂正)
- P27予算 国際奉仕委員会と青少年奉仕委員会予算が逆に記載されています。訂正をお願い致します。

会長の時間

会長 鴨宮 弘宜



前回、7月13日の例会で100%出席を達成することができました。例会後のメイクにより100%達成したことは何度かあるようですが、例会中に達成した例では、2011年8月4日（第22

99回例会）以来、およそ6年ぶりの事です。前回の会長の時間では、「ロータリーの目的」についてお話をさせて頂きました。私たちの地域経済等の停滞や、人口減少、高齢化、若者の地域離れ等、今後の竹原ロータリークラブを取り巻く環境は決して楽観的な状況ではありません。さりとて、マイナス思考に陥ることや悲観的になることもないと考えます。ピンチはチャンスであり、変化への兆しであるからです。ピンチの時だからこそ「竹原ロータリークラブの今後」について前向きに考える一年になることを願っています。

本日はRI会長イアン・ライズラリーが、ロータリーの友7月号に、メッセージとして、会員に向けて次のように述べています。中略して拝読いたします。2017年7月 RI会長のメッセージ ロータリアンの皆さまへ。ロータリーに入会する理由は、ロータリアンの数だけあります。もしかしたら、もっと多いかもしれません。しかし私たちはそれぞれ、入会してから生活の中で何かが変わったとを感じるからこそ、ロータリーにとどまっているのでしょう。ロータリーを通じて私たちは、「変化をもたらして」います。ロータリーに積極的に参加すればするほど、私たち一人ひとりにも変化をもたらされます。ロータリーは私たちに、もっと良い人間となり、もっと意欲的に、高い目標に向かって努力し、毎日の生活に「超我の奉仕」を取り入れるよう、常に銘記させてくれます。ロータリークラブやロータリアン一人ひとりが、奉仕を通じてどんな変化をもたらすかは、常に各自が決めることです。

長年にわたり、私たちの奉仕活動すべての根幹に関わってきた問題があります。それは、持続可能性で

## クラブ管理運営委員会担当例会

クラブ管理運営委員長 尾野 剛章



竹原クラブが『戦略計画』を立てるということですので、4月23日(日)2017-18年度地区研修・協議会に於いて大之木パストガバナーの「クラブ戦略計画の

これ迄とこれから」の講演がございましたので参考になればと思いご紹介させていただきます。少しでも戦略計画を理解して頂きたいと思います。既に報告したことですが、戦略計画を導入されてクラブで、尾道RCはガバナーを出せるクラブになろうと計画されて実行されています。

防府北RCは会員17名のクラブですが、例会を月に2回にして会員を増やしたいという計画を立てられています。呉RCはローターアクトをクラブに入れようとアンケートをとったり入会に繋がるような努力をされているとの事です。

(配布資料)

あなたはロータリーのあなたは、ロータリーの現状をどうみていますか。

(イ) ロータリーについての一般の人々の認識 (10人)

- ・聞いたことがない 4人
- ・名前だけは聞いたことがある 4人
- ・ある程度は知っている 2人

(ロ) ロータリー会員数の推移

	<ピーク>	<現在>	<比較>
・世界	123万 (2009)	122万	横這い
・日本	13万 (1997)	8.9万	△4.1万 (△30%)
・D2710	4,300	3,380	△920 (△20%)

(ハ) 会員の平均年齢 (世界)

- ・40才未満-5%
- ・大半は60才以上

あなたのクラブの現状をどうみていますか。

- (イ) 会員数・資質 (ロ) 平均年齢 (ハ) 女性会員
- (ニ) 認知度 (ホ) 地域社会の評価 (ヘ) 会員の満足度
- (ト) 社会奉仕の成果 (チ) ロータリー財団への協力
- (リ) 10年後のイメージ etc.

◎自分もクラブもこの儘では駄目。5~10年後の在るべき自分、在るべきクラブのイメージを描いて、現状とのギャップを埋めていく為の対応策。

それが「クラブの戦略計画」です。

「戦略計画」(Strategic Plan) が生れてきた背景

- (イ) 世界的規模の会員減少に基くRIの危機感対応
- ・2002年「DLP」地区強化策・実施の義務化
- ・2004年「CLP」クラブ強化策・実施の推奨
- ・2007年「長期計画」
- ・2010年「戦略計画」

(2010年「未来の夢計画」のテスト実施→2013年正式導入)

- (ロ) a) クラブの単年度制がマンネリ化を誘発。
- b) RIによる地区及びクラブの管理運営への容喙

す。持続可能な奉仕とは、ロータリーによる直接参加が終わった後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。たとえば、ただ井戸を掘っただけで立ち去るのではなく、村人たちが井戸の手入れと修繕をできるようにしなければなりません。病院を建てたなら、ロータリーからの支援がなくても経営を続けられる方法を、きちんと確立しなければなりません。ポリオについて言えば、私たちの活動が目指すのは、ウイルスの単なる抑止ではなく、「撲滅」です。ポリオ撲滅は、持続可能な奉仕の、いわば究極的なかたちです。その活動資金を支援することで、私たちは全世界の人びとに、長期的どころか永続的な恩恵をもたらすでしょう。112年にわたってロータリーは、計り知れないほど多くの人に多くの方法で変化をもたらしてきました。初代会長ポール・ハリスの掲げた小さなたいまつの火を、世代から世代へと引き継いで「変化をもたらし」ながら、今私たちはここにいます。(以上)

竹原ロータリークラブにとって「超我の奉仕」とはなにか。RI会長の言う持続可能な奉仕とは何か。私たちは今日まで、様々な事業にかかわっていますが、社会状況や環境等、時代背景も大きく変化してまいりました。その中で、「今」私たちに求められている「持続可能な事業とは何か」「ロータリーの魅力とは何か」等を一度立ち止まって、リセットして考えてみる必要があると思います。何を守り、何を変化させ、どのような新しい取り組みを行うのか。新たな時代、私たちの状況に即した、持続可能な事業を考え展開することにより、超我の奉仕の実践と新たな竹原ロータリークラブの活躍、発展の場が生じるものと考えます。皆さんと共に歩ませて頂きたいと思います。長期戦略計画の取り組み、宜しくお願い致します。

《今週の言葉》

「計画のない目標は、ただの願いごとにすぎない」  
アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ (作家)

「仕事を追え、仕事に追われるな」  
ベンジャミン・フランクリン (政治家)

「そのうちに、を口ぐせにしている人は、永久にそのうちに、を繰り返す」  
朱子 (儒学者)

## 委員会報告

□前年度SAA 尾野剛章  
6月29日(木) 大広苑に於いて開催した2016-17年度お別れ例会決算について報告されました。

## 臨時理事会報告

- 日 時 平成29年7月20日(木)
- 場 所 大広苑 □出席者 9名
- 議 題
- ①九州北部豪雨災害に対する義捐金の件 承認 一人 1,000円
- ②長期戦略計画委員会第一例会理事会後開催する
- ③第10回ぶちええ竹原まつり物産展出展の件  
日時 10月15日(日)  
奉仕プロジェクト委員会とロータリー財団委員会で協議の上参加可否を決める